

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科		
科目名称	韓国語Ⅰ						授業形態	講義	
科目コード	531337	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験担当教員			Active・L
担当教員名	韓 壽燕								ICT活用
授業概要	この授業では韓国語の発音と文字をはじめ、あいさつや基本的な会話を学びます。期末までに韓国語で自己紹介のスピーチができることを目指します。 韓国語を学んでいく過程を通じ、ことばのみならず人々の生活や文化にも興味を持ち積極的にコミュニケーションを取ろうとする姿勢とスキルを身につけることを目的としています。 この授業での経験が異文化・他言語を持つ他人への関心と理解を高め、コミュニケーション力向上につながる事を期待します。								
関連する科目	韓国語Ⅱ(次年度前期開講)								
授業の方法と進め方	この授業では、ペアワークやグループワーク、発表などを通して積極的に声を出しコミュニケーションにつなげ「知る」だけでなく「使える」ようにしていきます。 前半では先ず韓国語の発音と固有の文字ハングルを学びます。自分の名前などがハングルで書け、ハングル表記の商品名や看板などが読めるようになります。 日本語に比べはるかに発音の数が多い韓国語ですが、ハングルが発音記号のような役割を担うためハングルが分かると発音も難なく学べます。(この段階で落ちこぼれないことが肝心！) 後半ではクラスで実際にあいさつを交わしたり、簡単な文で自分や家族、今住んでいるところについて表現したり、短い質問を交わしたりする練習を積み上げていきます。 最終的には、習ったあいさつや表現を駆使して簡単な自己紹介のスピーチをしてもらいます。								
第1回	【オリエンテーション】 内容：授業概要説明 初めてのあいさつに挑戦/ハングルの仕組みを知る/自分の名前をハングルで書いてみる 方法：講義・ペアワーク・グループワーク 課題：街のハングルを見つける								
第2回	【文字と発音 1・2】 内容：ハングルの「あ・い・う・え・お」基本母音字10/基本子音字10、有声音化/基本のあいさつ 方法：講義・ペアワーク・発表（名前紹介） 課題：宿題1（基本母音字・基本子音字の復習）								
第3回	【文字と発音 3】 内容：その他の子音字（激音と濃音）/基本のあいさつ 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題2（子音字の復習）								
第4回	【文字と発音 4】 内容：合成母音字11 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題3（母音字の復習）								
第5回	【文字と発音 5】 内容：パッチム（終声）、連音化、濃音化/ 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題4（パッチムの復習）								
第6回	【文字と発音まとめ】 内容：韓国語の発音とハングル文字まとめ/日本語のハングル表記/基本のあいさつ/漢数詞1～10 方法：講義・ペアワーク・グループワーク 課題：宿題5（文字と発音復習）								
第7回	【文字と発音テスト】 内容：<筆記>韓国語の発音と文字に関する基本的な知識、基本のあいさつ（聞き取りを含む） <口頭>あいさつ・ハングル単語カード読み 方法：試験 課題：宿題6（第1課単語予習） 【文化体験】 ハングル文字アート								
第8回	【第1課①】 内容：初めての人とあいさつする 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題7（第1課復習）								

第9回	【第1課②】 内容：初めての人とあいさつする/自己紹介ができる 方法：講義・グループワーク 課題：宿題8（第2課単語予習）
第10回	【第2課①】 内容：家族について話す 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題9（第2課復習）
第11回	【第2課②】 内容：家族について話す/家族の紹介ができる 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題10（第3課単語予習）
第12回	【第3課①】 内容：場所を訊く 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題11（第3課復習）
第13回	【第3課②】 内容：場所を訊く/確認する 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題12（第4課単語予習）/スピーチ原稿
第14回	【第4課①】 内容：モノの有無について話す 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題13（第4課復習）
第15回	【第4課②】 内容：モノの有無や位置について話す 方法：講義・ペアワーク 課題：宿題まとめ提出/自己紹介スピーチ練習
授業の達成目標	①韓国語の発音と文字を覚え、看板・メニューなどハングルで書いてあるものが読める ②自分の名前や日本の地名などの固有名詞がハングルで書ける ③韓国語の基本的なあいさつを交わすことができる ④韓国語で自分や家族のことについて簡単な質問に答えられる。 ⑤モデル会話の背景にある韓国文化や韓国事情を知り、自ら興味を持つようになる。 ⑥韓国語で簡単な自己紹介ができる。
学修成果との関連	1.自ら考える能力を有する。／2.自分の言葉で表現できる能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。／4.多文化・異文化に関する基本的知識を有する。
授業時間外学習【予習】	テキストや資料に沿って単語を重心に予習する。声に出して練習することを心かける(週60分程度)
授業時間外学【復習】	テキストの会話と練習問題、出された課題で自習する。(週60分程度) 韓国の歴史・文化に関心を持ち、情報を収集し知識を深める。(週60分程度)
課題に対するフィードバック	毎回課題が出されます。 課題は次の授業までに提出、返却されたらチェックされているところを見直して訂正しておきましょう。(質問があったら余白などに書いて提出) 期末に訂正が済んだ課題をまとめて提出してもらいます。(平常点として成績に反映されます)
評価方法・基準	<授業への参加度・課題>40% 活動への積極的な参加14% / 課題(13回分)26% <中間試験>30% ①筆記試験20% ②口頭試験（単語カード読み）10% <期末試験>30% 自己紹介スピーチ 評価基準①自己紹介として適切な表情や態度、声量でスピーチが出来ているか ②内容がはっきりと伝わっているか ③文章、発音などが韓国語として自然で流暢であるか
テキスト	『バランス韓国語会話入門』金京子（2014）朝日出版社 ISBN: 978-4-255-55634-5
参考書	使用しない

備考	※後期の「韓国語Ⅰ」・次年度前期の「韓国語Ⅱ」は同じテキストを使って前半・後半を学ぶ授業で原則続けて履修する科目です。 ※外国語の学習は積み重ねが肝心です。欠席しないよう心かけ授業中の活動や課題などに積極的に取り組みましょう